

父の日にバラの花束を

バラ苗生産組合

6月10日、父の日を前に、バラ苗生産組合長青木宏達さんと副組合長國枝信男さんが役場を訪れ、町の特産であるバラの花束を町長に手渡しました。今年のバラは、黄色と緑色のグラデーションが特徴の新品種「サンサ」で、大野町合併70周年にちなんで70輪の花束をいただきました。

贈られた花束は、町の特産であるバラのPRにと役場ロビーや町長室などに飾りました。



▲バラを手渡す青木さん（中央）と國枝さん（左）



▲委嘱状を手にする田丸さん（中央）

自衛隊募集相談員に委嘱

田丸 和志さん（寺内）

5月29日、役場において自衛官の募集活動を支援する募集相談員の委嘱式があり、田丸和志さんが委嘱を受け、町長と寺西竜哉自衛隊岐阜地方協力本部長から委嘱状と標札が手渡されました。自衛官募集相談員は、自衛隊の情報の提供や入隊希望者への説明など自衛隊と町民の皆さんとの橋渡し役を担います。

企業版ふるさと納税の寄付

昭和造園土木（株）

6月7日、昭和造園土木（株）の日比真一代表取締役が来庁し、町の発展を願う企業版ふるさと納税として、170万円を寄付されました。今回の寄付は道の駅「パレットピアおおの」のブラッシュアップに活用します。町長は「町の訪れてみたい・もてなしたい希望をかなえる事業」に賛同し、寄付をいただいたことに対し、お礼を述べました。



▲目録を渡す日比代表取締役（左）



▲JKC・ST連合会 須山光央 会長（左）

屋外用スポーツベンチの寄付

JKC・ST連合会

5月25日、26日「ジャーマンシェパードドッグ・トレーナーズクラブ訓練競技会」が大野揖斐川パークで開催され、会場利用のお礼として屋外用スポーツベンチ4台を寄付いただきました。

いただいた屋外用スポーツベンチは、町のイベントや施設に設置して活用させていただきます。ありがとうございました。

全国での健闘を誓う

「バタフライ 第43回全日本クラブ卓球選手権大会」出場者 激励会

6月10日「バタフライ 第43回全日本クラブ卓球選手権大会（団体戦）」へ出場する北小学校6年、河合隼弥さんの激励会を開催しました。

河合さんは「初めての全国大会になるので、練習の成果を発揮したい」と強く述べました。

町長は「全国大会には強豪選手もたくさんいると思いますが、1つでも多く勝ち抜いて欲しい」と激励しました。



▲全国大会に出場する河合さん（中央）



犯罪や非行のない明るい社会を築くために

社会を明るくする運動

7月、法務省が主唱する全国的な運動「社会を明るくする運動」が強調月間であることから、町内でも活動が行われました。

この運動は、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、安全で安心な明るい社会づくりをめざして、地域社会全体で犯罪や非行の抑止力を養うことを目的としています。

町では、町内の保護司や更生保護女性会、BBSのメンバーで組織された「社会を明るくする運動推進委員会」が運動を推進しています。

7月1日には、役場において、保護司会代表の田中博さんより町長へ内閣総理大臣と県知事からのメッセージ伝達式が行われたほか、各小中学校へ保護司が訪問し、啓発用のチラシなどを配布しました。



▲伝達式で町長にメッセージを手渡す田中代表（手前右）

鮎が泳ぐきれいな川を守りたい

根尾川筋漁協稚鮎放流

6月10日、根尾川上流の本巢市山口において「いきものをたいせつに」「いつまでもきれいな川に」と願い、根尾川筋漁業協同組合による稚鮎放流事業が行われました。

西こども園および南こども園の年長児20人が参加し、鮎の生態や川での遊び方についてクイズ形式で楽しく学び、稚鮎の放流やニジマスのつかみ取りも体験しました。



▲稚鮎を放流する様子



▲ニジマスのつかみ取りを楽しむ園児

北見市
ところ通信
Vol. 294

日吉・福山地区が水害を想定し避難訓練

— 水害時の行動を確認し合う —

7月6日、日吉・福山町内会が常呂川の水害を想定し、両地区で定めた水害時の行動計画「コミュニティタイムライン」に基づき、避難訓練を行いました。

訓練には、地域住民約40人が参加。常呂消防団の団員が避難所の運営をサポートするなど、参加者は水害時の行動を再確認しました。

また行動計画の策定に関わった松尾一郎東京大学客員教授が訓練を見学し「地域で年に一度は訓練をすることが重要」と参加者に訴えました。

